

実施計画事業評価調書の見方

実施計画事業評価調書

評価対象年度

事業名称				担当	
事業区分	一	問い合わせ先	新規・継続		
1 事業期間・根拠等	「第5次川口市総合計画基本計画」における事業の位置付けを記載しています。			事業の根拠となる法令や、具体的な計画・方針・要綱がある場合に、記載しています。	
事業期間 第5次川口市総合計画	根拠法令等				
2 事業概要	当該事業が自治事務(義務・任意)、法定受託事務のいずれに該当するのかを記載しています。			当該事業の実施形態(直営、全部・一部委託、指定管理、補助金・負担金)を記載しています。	
事務分類 事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			めざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
該当年度の実施内容及び成果	当該事業の目的・背景を、資格要件等を含めて記載しています。			最終的にどのような成果をもって事業が終了となるのか、どのような状態になることが事業の終着点となるのかを記載しています。	
	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	事業を実施する際に行った具体的な活動や取り組みを記載しています。			①アクションに対して、事業実施による直接的な結果や事業活動実績を記載しています。	
	③アウトカム(①②から得られる成果により対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	①アクション・②アウトプットにより、事業対象や受益者等にどのような成果がもたらされたのかを記載しています。			①アクション・②アウトプット・③アウトカムを基に、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題を記載しています。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					
	単位					
	目標値	【事業活動・成果の状況】 「事業の目的」に対して、具体的な成果や活動内容が把握できるような指標を記載しています。				
	実績値・達成状況	【目標値・実績値・達成状況】 令和6年度の目標値・実績値を記載しています。 達成状況…達成/未達成/-(目標値設定なし等)				
指標②	名称	【指標の種別】 成果…行政活動による社会的な効果・成果、実現したい状態 等 結果…行政活動の結果としてのサービス等の水準・量 等 活動…市が行った具体的な活動実績や行政資源の投入量 等				
	単位					
	目標値	【指標・目標値の説明(算定式)】 指標の具体的な内容や、算出するための数式、目標値設定の根拠となる計画や考え方を記載しています。				
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度	予算額(A)					
財源※	決算額(B)=(C)+(D)					
特定財源(C)						
一般財源(D)						
概算人件費(E)						
従事職員人数(人)	常勤 再任用					
総事業費 [(A)又は(B)]+(E)						

一人当たりの年間平均人件費に従事職員人数を乗じて、概算人件費を算出しています。
 【令和4年度】 常勤:7,700千円、再任用:3,700千円
 【令和5年度】 常勤:7,900千円、再任用:3,700千円
 【令和6年度】 常勤:8,100千円、再任用:3,900千円
 【令和7年度】 常勤:8,300千円、再任用:3,900千円

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源

当該事業に携わる職員人数を記載しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ		各評価項目の判定(次ページ)を点数化し、視点ごとの合計点数を視点評価(15点満点)とします。				
	市役所の必要性						
	将来的な市民のニーズ						
効率性	コストに対する成果		4つの視点評価の点数を合計したものを、総評価(60点満点)としています。				
	業務プロセス改善						
	民間活用						

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
/60	実施方向性(次ページ)について、事業に関わる市民ニーズや背景、活動内容等を踏まえて記載しています。	翌年度 翌々年度

〔参考〕 視点評価の判定について

評価項目		判定	配点	判定基準
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	5	当該事業によって市民に提供されるサービスに、市民ニーズがあったか
		低かった	1	
		どちらともいえない	3	
		不明	1	
	市閥与の必要性	高かった	5	当該事業は市が主体的に実施すべきであったか
		低かった	1	
		どちらともいえない	3	
		不明	1	
	将来的な市民ニーズ	見込める	5	当該事業は将来的にも市民ニーズがあるか(ありそうか)
		見込めない	1	
		どちらともいえない	3	
		不明	1	
有効性	期待どおりの成果	期待以上	5	事業の成果は適正に測れていたか(年度当初の想定と比較して)
		期待どおり	3	
		期待以下	1	
	施策(上位目的)への貢献	高かった	5	施策の基本方針と当該事業の内容は整合性が取れていたか
		低かった	1	
		どちらともいえない	3	
		不明	1	
	目的に対する事業内容	適正	5	事業の目的に対して、評価年度の実施内容は適正であったか
		不適正	1	
		不明	1	
効率性	コストに対する成果	高かった	5	実施した内容及び成果が投入したコストに見合っていたか
		低かった	1	
		どちらともいえない	3	
		不明	1	
	業務プロセス改善	行った・既に行った	5	業務プロセス改善に関する取組みや工夫は見られたか
		検討した	3	
		行わなかつた	1	
		改善の余地なし	除外	
	民間活用	行った・既に行った	5	民間活用(民間企業やNPOなどへの委託やPFI/民営化など)の取組みや工夫は見られたか
		検討した	3	
		行わなかつた	1	
		活用の余地なし	除外	
公平性	受益者の資格条件	適正	5	受益者が明確に定められているか(特定の市民、全ての市民等)
		不適正	1	
		受益者なし	除外	
	受益者負担の水準	適正	5	受益者負担金の水準について適正化が図られているか(負担0円だとしても、それ自体が適正であるのか)
		不適正	1	
		不明	1	
		受益者なし	除外	
	対象者への周知	十分行った	5	対象者・受益者に対する周知を行ったか
		行った	3	
		足りなかつた	2	
		行わなかつた	1	

〔参考〕 今後の実施方向性（選択肢）

拡充して実施	①前年度よりも総事業費を拡充し、事業内容も充実
	②前年度と同等の総事業費で、事業内容を充実
	③前年度よりも総事業費は縮小するが、事業内容を充実
現状維持で実施	①前年度と同等の総事業費で、同等の事業を実施
	②前年度よりも総事業費を拡充するが、同等の事業を実施
	③隔年実施等の理由から前年度は休止していたが、当該年度から再開する事業
	④計画に基づく事業費変動により実施されている事業
効率化して実施	前年度よりも総事業費を縮小するが、同等の事業を実施
縮小して実施	①前年度よりも総事業費を縮小し、事業内容も縮小
	②前年度と同等の総事業費で、事業内容を縮小
	③前年度よりも総事業費を拡充するが、事業内容を縮小
他事業に統合されて実施	他の事業の一部として実施
完了	前年度をもって、事業が完了
休止	当該年度は、事業を休止
廃止	前年度をもって、事業が廃止
—	前年度に他事業に統合されて実施、完了、廃止